

この説明書は本剤とともに保管し、服用に際しては必ずお読みください。

漢方薬局 旺樹の杜 小柴胡湯

小柴胡湯は、「傷寒論」・「金匱要略」を原典とする、はきけ、食欲不振、かぜの後期の諸症状等に用いられる漢方薬です。

してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

次の人は服用しないでください。 生後3カ月未満の乳児。

相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

（1）医師の治療を受けている人。（2）妊婦又は妊娠していると思われる人。（3）体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。（4）高齢者。（5）今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。（6）次の症状のある人。むくみ（7）次の診断を受けた人。肝臓病、高血圧、心臓病、腎臓病（8）インターフェロン製剤で治療を受けている人。

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
その他	頻尿、排尿痛、血尿、残尿感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1カ月位（かぜの後期の諸症状に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

4. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください

効能・効果

体力中等度で、ときに脇腹（腹）からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振や口の苦みがあり、舌に白苔がつくものの次の諸症：食欲不振、はきけ、胃炎、胃痛、胃腸虚弱、疲労感、かぜの後期の諸症状

成分と分量

1包（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

成 分	サイコ	ハンゲ	オウゴン	ニンジン	タイソウ	ショウキョウ	カンゾウ
分 量	6.0g	5.0g	3.0g	3.0g	3.0g	1.0g	2.0g

用法・用量

本品1包に、水約500mLを加えて、半量ぐらいまで煎じつめ、煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用してください。

上記は大人の1日量です。

年 齢	大人（15才以上）	14才～7才	6才～4才	3才～2才	2才未満	3カ月未満
服用量	上記の通り	大人の2/3	大人の1/2	大人の1/3	大人の1/4以下	服用しないこと
1日服用回数	3回					

<用法・用量に関連する注意>

- （1）用法・用量を厳守してください。
- （2）小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- （3）1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。
- （4）煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこしてください。
- （5）本剤は必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

保管及び取扱い上の注意

- （1）直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- （2）小児の手の届かない所に保管してください。
- （3）他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります。）。
- （4）煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用してください。
- （5）生薬を原料として製造していますので、製品の色や味等に多少の差異を生じることがあります。

その他 医薬品副作用被害救済制度に関するお問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html> 電話 0120-149-931（フリーダイヤル）